

● 主な活動の記録

7月14日(土) 定例活動 総会

台風接近による雨にもかかわらず(定例活動は雨でも行います)、定刻には14名が参集。野外での活動はすべて中止し、まず矢田山遊びの森料理体験館で、19年度総会を開催。上田代表より過去一年間の会員の活動に対する労いと支援に感謝すると共に、本年度も同様の協力を期待する旨の挨拶に続き、18年度事業報告・収支決算、19年度事業計画・収支予算案につき事務局より説明。二三の質疑を経て全員の拍手で原案通り、全て承認。今後の活動につき意見交換を行って終了。更に他団体より協力依頼のある各種活動の紹介、参加の要請があった。午後は、情報館で夏場のイベントに出番の多い子供達に人気のクラフトの材料づくりと機械の整備等を行った。



総会風景ー代表挨拶



クラフトの材料づくりー機械でスライス

7月19日(木) 木工クラフト 奈良県立筒井寮にて

同寮でボランティア活動をしていた平山会員を通じて指導の要請を受け、同員を含め会員6名が訪問。子供達の学校からの帰寮を待つ間、寮生の楽しそうな年中行事の数々をDVDで見せてもらった。幼児から高校生までの寮生十数名が帰寮後、早速意欲的にクラフトづくりに取組んだ。各自二三個を作り上げ、皆の前でそれぞれが作品を発表。なかには今までにはないユニークなものもあり、なかなかの出来映えでした。最後に全員でおやつ甘いスイカを頂きました。



説明・注意を聞く



ボクもお手伝い

7月21日(土) 「なら森を育てる県民の集い」

山と森林の月間のスタートにあたり、県並びに(財)奈良県緑化推進協会の主催で矢田山遊びの森で開催。時に小雨のぱらつく中、児童から高齢者までの県民約350名と多数が参加。式典、緑化表彰、緑の少年団認定後、各種団体が準備したふれあいイベントへと移動。順番待ちの出来るイベントもあり、時間まで目一杯楽しみ盛会裡に終了。

当クラブは前日は会場準備作業の手伝い。当日は木・竹炭の窯だし、コテマリの植栽に加え、水鉄砲・竹馬・コッポリづくりを指導。仕上ると早速使って、竹馬には少々艇子摺っていたが、それぞれに楽しんでいた。



竹馬づくり



水鉄砲づくり

7月28日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

猛暑日の気温に迫らんとする炎天下、体験の森・野鳥の森両植栽地での下草刈りを実施。今日は県の「山と森林の月間」に協賛、「一日森林ボランティア体験」に応募された子供さん2名を含む一家4名を迎え、大いに汗を流した。子供さんから「楽しかった。また参加したい。」との感想を聞き、大いに意を強くした。(この一日体験は8月11日・25日も実施。) 昼は山の畑で採れたトウモロコシを自家製の炭で焼いたのを頬張りながらの弁当。

午後は一般参加を含めクラフト、炭の分割・袋詰め、クラフトの材料づくり等。



蔓草を優しく取外す

8月25日(土) 定例活動と平行して、山と森林の月間の協賛事業として、イベント「森で作ろう料理とクラフト」を矢田山遊びの森にて開催。イベントには親子づれ40名弱が参加。開会式でイベントの主旨・注意事項等の説明を聞き、料理づくり会場の料理体験館へ移動。カレーづくりのための食材玉ねぎ・ジャガイモ・人参を洗い・皮むき・切るそれぞれ担当毎に準備。煮込みを待つ間に、森林作業体験(下草刈り・林内整備)と竹を使ってのコップづくりの二手に分かれ作業を行った。「出来たよ、集合!」の声で一斉に集まり、出来立てのたっぷり入った熱いカレーライスに舌鼓を打った。午後は子供交流館で小枝・木の実等を使って、それぞれ思い思



カレーの仕込中

いのクラフトづくりに取組んだ。最後にアンケートに記入。今日が思い出深い夏休みの一ページを飾ってくれることを願いつつ解散。

定例活動は、イベントのスタッフ以外の会員が炎天下「野鳥の森」植栽地での下草刈り、午後はクラフトの材料づくり、周辺整備・調査等を行った。



下草刈り



クラフト風景



9月1日（土） 高取山共生の森整備・保全事業

——緑の募金中央事業——

整備された林道のお陰で、記念植樹広場まで乗入れの出来た小型バス2台に分乗したENEOSの親子づれを含む社員30数名と指導にあたる当クラブ会員10名が参加。事業の内容、活動の意義、注意事項等の説明のあと、林内整備3班、クラフト（親子づれ）1班に分かれ活動を開始。作業現場では伐採すべき常緑の灌木、倒木の選び方、伐採方法等を会員から指導を受けながら荒れた自然林を切り開き、脇を通る古道の整備も合せて行った。明るく風通しが良くなり向側の山々が見え出すと皆は満足気。クラフト班は巣箱を組み立て、山頂付近の木に一本梯子を使って取付けた。木登りにチョット不安気だった子供も無事に木におさまった巣箱を見上げ嬉しそうだった。作業終了後自然観察を兼ねての散策。

午後は会員だけで植栽地の下草刈り作業。



整備作業風景



巣箱づくり



巣箱かけ

「古事の森」植栽地整備

非常に遠い将来、神社・仏閣の立て替え時に必要となるヒノキの大径木を数百年をかけて育成

を目指す「古事の森」の整備作業を、2日（日）春日奥山に続いて、9日（日）は法隆寺で行った。9日は、いこま里山クラブからの応援もあり、2日間で延べ36名が参加、両日共にまだまだ残暑厳しい炎天下、植栽木の間をぬっての筋刈りつつる切りに大いに汗した。

作業風景



9月26日（水）平城宮跡特別保存地区 奈良坂・奈保山 林内整備

今まで手がけてきた平城宮跡特別地区・平城山の整備作業が昨年度終了。引続いて今年度からは、元明天皇陵の隣接地の特別保存地区の整備を5年をかけて行うこととなった。竹の繁茂が、著しく、伐採後の処理が結構手間取りながらも、徐々に開かれていき、光と風が入ってくるようになると、ホットー息つきながらの作業が続いた。



9月29日（土） 宙塾 森林作業体験

塾生とその親がエコ活動の一環としての森林作業の指導の要請を受け、誓多林で実施。作業開始に先立ち、その作業の意義を理解するために森林の働きについて皆で考え、出揃ったところでカマの扱い方を聞いて下草刈り、ついで間伐・枝打ち・皮むき作業を体験した。最初はうま曳けなかった木挽きノコもその動きが段々と滑らかになり、伐倒時には歓声を上げていた。

